

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月24日 (2016.11.24)

【公開番号】特開2014-210110(P2014-210110A)

【公開日】平成26年11月13日 (2014.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-062

【出願番号】特願2013-88871(P2013-88871)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月4日 (2016.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献 1】特開 2 0 1 3 - 0 3 4 6 8 2 号公報

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

しかしながら、特許文献 1 に記載の遊技機のような演出は周知であり、同様の構成では、遊技に対する飽きが生じてしまい、遊技興趣の低下を招く虞がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

そこで、本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、遊技興趣の低下を抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1に係る遊技機は、

遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機であって、

遊技に関する所定の演出画像を表示可能な第1演出表示装置と、

前記第1演出表示装置より遊技者側に配置され、所定の演出画像を表示可能な第2演出表示装置と、

所定条件の成立に基づいて利益付与に関する抽選を行う抽選手段と、

前記抽選の結果に基づいて、前記第1演出表示装置及び前記第2演出表示装置による演出の進行を制御する演出制御手段と、

を備え、

前記演出制御手段は、

前記第2演出表示装置の表示領域から前記第1演出表示装置の表示領域に特定画像を移動表示する特定画像移動表示手段を有する

ことを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項1に係る遊技機によれば、遊技興趣の低下を抑制することが可能となる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機であって、

遊技に関する所定の演出画像を表示可能な第1演出表示装置と、

前記第1演出表示装置より遊技者側に配置され、所定の演出画像を表示可能な第2演出表示装置と、

所定条件の成立に基づいて利益付与に関する抽選を行う抽選手段と、

前記抽選の結果に基づいて、前記第1演出表示装置及び前記第2演出表示装置による演出の進行を制御する演出制御手段と、

を備え、

前記演出制御手段は、

前記第 2 演出表示装置の表示領域から前記第 1 演出表示装置の表示領域に特定画像を移動表示する特定画像移動表示手段を有する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、音の出力にかかる制御を行う音出力制御手段をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、遊技結果に応じて遊技者に遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段をさらに備えることを特徴とする遊技機。